

山行報告書

報告書作成

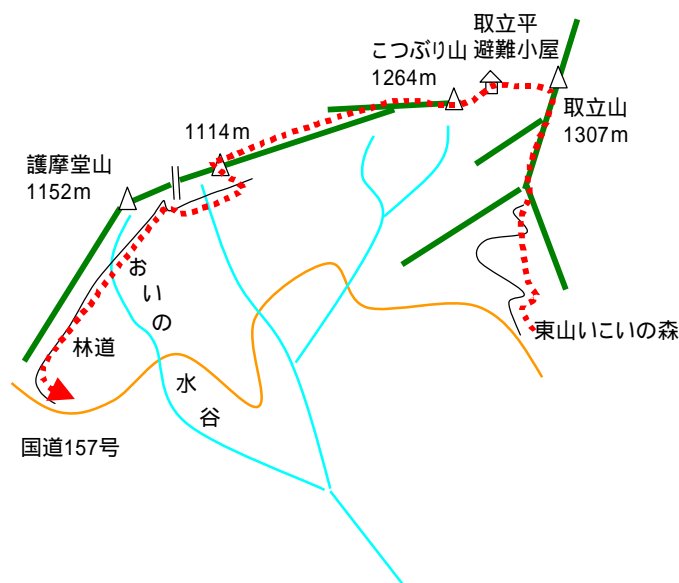
2007年2月12日

山名 [山域]	取立山 [加越国境]	目的と方法	山スキー
登山期間	2月11日(土) 雪時々曇	山行形態	日帰り
参加人数	4名		

行動記録

岩津市民C(455) == 豊田東IC(500) == 美濃IC(605) == 油坂峠(710) == 東山いこいの森(845,915)
 -- 取立山(1225,1230) -- 取立平避難小屋(1250,1305) -- 1114m地点 (1435,1445)
 -- 国道157号(1615,1700) == 水芭蕉(1715,1825) == 勝食(1830,1900) == 油坂峠(2015)
 == 美濃IC(2200) == 岩津市民C(2250)

概念図



日誌

加越国境は豪雪地帯で山スキーエリアの可能性は果てしない。
 今回は取立山からこつぶり山、護摩堂山を経ておいの水谷を滑る計画だ。
 東山憩いの森には10台くらいの車がすでに止まっていた。雪の中、準備をして、歩き出すと、前方から過激なスキーで有名な金沢のお医者さんのヤスヒロさんが軽快に滑ってくるではないか。思わず、声をかけて、写真をとらせていただく。僕の中で憧れのスキーヤーだったので、大満足。
 さて、バンガローが立ち並ぶ道を歩き、ショートカットのトレースに入り込むと、急斜面で板を外すことに。太ももまでのラッセルで汗がどっと噴出す。
 夏場には駐車場となるあたりから取立山までは快適な斜面が続き、山頂には2パーティが休憩していた。ここからの縦走はトレースがなく、自分でつけるトレースは格別だ。
 本来なら白山方面の展望が素晴らしいはずなのだが、今日は稜線に上がっただけで満足。
 1114m地点で、ここが護摩堂山かどうか判断に迷う。
 どちらの場合でも、修正は可能と判断し、ここを護摩堂山として滑ることにする。
 すると、後ろから関西の6人パーティが来たので、確認すると、1114地点ということらしい。視界があまり良くない場合のルートファインディングはやはり難しい。
 一旦林道に出て、おいの水谷を探す結局わからず、そのまま国道157号に出る。
 ここからいこいの森まで歩くと1時間弱は覚悟しなければならない。
 他の3人は荷物番をしてもらい、覚悟を決めて、一人で歩き出し、ためにヒッチハイクを試みると、4、5回目で親切な御夫婦に拾われ、いこいの森まで。世の中、やっぱりいい人はいますね。
 下山地点まで戻り、関西のパーティの人を今度は自分が憩いの森まで乗せていく。
 このエリアはとても面白そうなところが多いので、ゆっくりいろいろ滑ってみたいと思った。
 東海北陸自動車道は関西方面からのボーダが増えたためか、往復渋滞となった。
 今後の計画に渋滞時間、通行時間帯を考慮すべきであろう。